

銚子の魅力を  
発信するちょよ!



# のI♡銚子

第74回

東京都清瀬市史上初!銚電へ出向

古林 夕佳 さんの巻

銚子電鉄のPR戦略を学ぶ。新戦力の出向公務員を突撃ちょよ

猪突猛進!猪突猛進!

「チャンス逃したくなかった」  
幾多の経営危機を乗り越えた銚子電鉄の柔軟で斬新な企画力が、東京都清瀬市を動かす。この春、ノウハウを学ぶため、銚子電鉄へ職員を派遣する

プロジェクトが打ち出された。清瀬市で初の試みに、シテイプロモーション(課当時)の古林さんが採用された。「多摩地域から出たことがなかった。外から自分の住む地域を見るチャンス。この一年でパワーアップして帰りたい」

覚悟ができたなら猪突猛進。休日も、マイカメラを片手に(時にはロードバイクで)フィールドワークに勤しむ。ここは最前線

「商品のPRが販売に繋がることで今までにないやりがいを感じた」  
新商品の包装デザインや食品事業にフォーカスした「ぬれ煎餅Tシャツ」の制作など、早くも古林さんの手腕が光る。更なるPR強化の即戦力になっていると食品事業部の皆さんは語る。「民間企業ならではのスピード感はもちろん、一つひとつの商品戦略が綿密

に組み立てられていると感じ、驚いた」  
銚子電鉄の企画や商品はストーリー性、配色などの魅せ方も考え抜かれている。普通じゃない。学びが尽きない。「販売会でお客さんと話したり、一生懸命考えた商品を買っていただく瞬間がたまらなく幸せ」  
生き生きしているね、と言われます。「もっと早く銚子に住めばよかった。楽しいことが多すぎる」  
ハワイアンフェスティバルなどのイベントや美味しいお店に連れていってもらったり、寂しい思いはしていない



▶東京都清瀬市から銚子電鉄(食品事業部)に出向の古林夕佳さん  
1年間、ぬれ煎餅駅に勤務。ユニークな自社製品のほか銚子のお土産がここで揃う

## 銚子電気鉄道株式会社 ぬれ煎餅駅(食品事業部)

小浜町1753-1  
☎(26) 4343  
10時~17時 火曜日定休



▲銚子電鉄のぬれ煎餅  
鉄道事業の赤字を補うべく、鉄道員が考案。「イシガミ」さんの多大な協力で生まれた



▲7月5日で開業100周年。鉄道部と食品事業部、和気あいあい!



こもれびとせせらぎのまち/  
古林さんが愛する清瀬市の情報も check!



広報ちようし  
令和5年7月号第1258号 令和5年7月1日発行  
発行/銚子市 編集/秘書広報室

〒288-8601 銚子市若宮町1-1  
☎0479(24) 8181(代表)  
https://www.city.choshi.chiba.jp/

広報ちようしは、読みやすく分かりやすいデザインのため、  
【UD(ユニバーサルデザイン)ノックアウト】を使用しています。



人のうごき 令和5年6月1日現在 人口 55,632人(-113人) うち外国人住民人口 2,503人  
男 27,131人(-66人) 女 28,501人(-47人) 世帯 26,783世帯(-9世帯) ※カッコは前月比  
令和5年5月中の人口動態 出生 7人 死亡 93人 転入など 129人 転出など 156人